４．企業活動と情報システム

４．３システム戦略（情報システム戦略）

問題１

情報システムの全体最適化計画立案の際に、経営戦略との整合性を確保するために必要なこととして、最も

適切なものはどれか。

ア．現場社員からのヒアリング　　　 イ．情報システムの提案依頼書の策定

ウ．中期経営計画書の理解　 　　　 エ．独立監査人の監査報告書の閲覧

問題２

エンタープライズアーキテクチャの“四つの分類体系”に含まれるアーキテクチャは、ビジネスアーキテクチ

ャ、テクノロジアーキテクチャ、アプリケーションアーキテクチャと、もう一つはどれか。

ア．システムアーキテクチャ　　　 　イ．ソフトウェアアーキテクチャ

ウ．データアーキテクチャ 　　 　　エ．バスアーキテクチャ

問題３

ビジネスに関わるあらゆる情報を蓄積し、その情報を経営者や社員が自ら分析し、分析結果を経営や事業推

進に役立てるといった概念はどれか。

ア．BI　　　　　イ．BPR　　　　　ウ．EA　　　　　エ．SOA

問題４

携帯機器などの携帯情報端末で受信できる地上ディジタル放送はどれか。

ア．情報バリアフリー　　　　　　　 イ．情報リテラシ

ウ．ディジタルディバイド　 　　　 エ．データマイニング

問題５

情報システム戦略策定の主たる目的として、適切なものはどれか。

ア．新たに構築する業務と情報システムに対する要件を明確にし、それを基にIT化の範囲を決定してその具体的機能を明示する。

イ．経営戦略に基づいた情報システム全体のあるべき姿を明確にして、組織としての情報システム全体の最

適化方針を決定する。

ウ．情報システム開発のために、組織として開発方法と管理方法を決定し、それらに基づいて開発と管理の

標準手順を設定する。

エ．対象とする業務の情報システム構築に関する要求事項を整理し、そのシステム化の方針と構築のための

実施計画を作成する。

問題６

情報システムに蓄積されたデータを分析し、業務に活用することを目標としているが、社員の経験不足のために進んでいない。目標の実現に向けての優先度の高い取込みとして、最も適切なものはどれか。

ア．分析に用いる高機能のPCを各部署に1台設置する。

イ．分析に利用可能なデータの提供時期を早める。

ウ．分析に利用するソフトウェアの性能を向上させる。

エ．分析の代表事例と分析用テンプレートを提供する。

問題７

顧客の購買行動を分析するバケット分析の事例として、適切なものはどれか。

ア．コンビニエンスストアで商品ごとの販売促進費と売上高の関係を分析する。

イ．コンビニエンスストアに来店する客が、一緒に購買する商品を分析する。

ウ．スーパーマーケットで販売する商品カテゴリごとの収益率を分析する。

エ．スーパーマーケットに来店する客のラオ店頻度や購入金額を分析する。

４．３システム戦略（業務プロセスの調査・分析）

問題１

業務プロセスモデルに関する説明として、適切なものはどれか。

ア．システム開発でプログラム作成に必要なデータ、機能などを記載したもの

イ．システム開発を外部委託するときの提案依頼に必要な条件を明示したもの

ウ．システム化の対象となるビジネスの活動やデータの流れを明示したもの

エ．システムを開発するプロジェクトの予算や納期などを記載したもの

問題２

業務で使用するデータの構造を分析し、整理する手法はどれか。

ア．データクリーニング　　　　　 　イ．データクレンジング

ウ．データマイニング　　 　　 　　エ．データモデリング

問題３

現行の業務プロセスを、業務で扱うデータの流れや機能で促える手法はどれか。

ア．DFD　　　　　　 　　　　 　イ．E－R図

ウ．データウェアハウス　 　　 　　エ．データモデリング

問題４

BPRに関する説明として、適切なものはどれか。

ア．企業の活動を、調達、開発、製造、販売、サービスといった側面から捉え、情報システムを再構築すること

イ．企業の業務効率や生産性を改善するために、既存の組織やビジネスルールを全面的に見直して、再構築

すること

ウ．企業の戦略を、四つの視点（財務の視点、顧客の視点、業務プロセスの視点、学習・成長の視点）から

再評価し、再構築する。

エ．顧客のニーズにきめ細かく対応し、顧客の利便性と満足度を高めるために、企業の情報システムを再構

築すること

問題５

情報システムの開発の際に作成される業務モデルが表現しているものはどれか。

ア．現行の業務システムのシステム要件

イ．現行の業務プロセスと導入予定のERPパッケージが前提とする業務プロセスとの差異

ウ．システム開発の対象である業務の仕組みやプロセス

エ．新規に開発する業務システムのシステム要件

問題６

BPM（Business Process Management）の特徴として、最も適切なものはどれか。

ア．業務課題の解決のためには、国際基準に従ったマネジメントの仕組みの導入を要する。

イ．業務の流れをプロセスごとに分析整理し、問題点を洗い出して継続的に業務の流れを改善する。

ウ．業務プロセスの一部を外部の業者に委託することで効率化を進める。

エ．業務プロセスを抜本的に見直してデザインし直す。

問題７

図のデータモデルで表される受注業務に関する記述として、適切なものはどれか。

　　　顧客　→　注文　→　明細　←　商品

ア．１人の顧客が同じ商品を２回以上注文することはできない。

イ．同じ商品を複数の顧客が注文することはできない。

ウ．複数の顧客が一度に注文することはできない。

エ．複数の商品を一度に注文することはできない。

４．３システム戦略（業務改善）

問題１

図は、業務改善の進め方を六つのステップに分解したものである。A～Dのそれぞれにはア～エに示す活動

のいずれかが対応する場合、Cに該当する活動はどれか。

　　　　　　　　　　　　ステップ１　　改善目的の確認

　　　　　　　　　　　　ステップ２　　　　　A

　　　　　　　　　　　　ステップ３　　　　　B

　　　　　　　　　　　　ステップ４　　　　　C

　　　　　　　　　　　　ステップ５　　　　　D

　　　　　　　　　　　　ステップ６　　実施と効果の確認

ア．改善案の策定　　　　　　　　 　イ．改善案の詳細

ウ．改善目標の設定　　　 　　 　　エ．問題の把握

問題２

グループウェアの導入目的として、適切なものはどれか。

ア．PC、周辺機器などの機器に組み込んで、ハードウェアの基本的な制御を行う。

イ．共同作業の場を提供することによって、組織としての業務効率を高める。

ウ．ハードウェアとソフトウェアが一体となったセキュリティ製品の導入によって、企業におけるインター

ネット利用のセキュリティを強化する。

エ．パッケージ化されたソフトウェア群を導入することによって、システムの開発期間の短縮及び保守の効

率化を図る。

問題３

元々は友人・知人間のコミュニケーションを促進する目的であったが、現在は企業でも活用されるインター

ネット上の会員制Webサイトサービスはどれか。

ア．SNS 　　　　　　 　　　　 　イ．チャット

ウ．ブログ　　　　　　　 　　 　　エ．ポータルサイト

問題４

社内の決済申請手続の迅速化と省力化を狙いとして導入するシステムはどれか。

ア．MRPシステム　　 　　　　 　イ．POSシステム

ウ．SFAシステム　　　　 　　 　　エ．ワークフローシステム

問題５

A作業、B作業、C作業からなる図のような業務プロセスがある。情報システムを導入することで改善できるとき、製品を１個製造するために必要な作業工数は改善前に比べて何％削除されるか。ここで、図の矢印

は作業順序を表し、作業工数は“要員数×作業時間”で計算する。

　　　　　　　A作業　　　　　　　　C作業

　　　　　　　B作業

【改善前】

　・各作業の要員数は１０名

　・製品１個当たりの所要作業時間は、A作業は３時間、B作業は３時間、C作業は４時間である。

【改善後】

　・A作業に必要な要員数が半分になる。

　・C作業の製品１個当たりの所要作業時間が半分になる。

ア．15　　　　　イ．20　　　　ウ．30　　　　　エ．35

４．３システム戦略（ソリューションビジネス）

問題１

SI（System Integration）に関する説明として、適切なものはどれか。

ア．業務内容を改善して、業務プロセスを再構築する。

イ．自社の業務過程の一部を、より得意とする外部の企業に委託する。

ウ．情報システムの企画、構築、運用などの業務を一括して請け負う。

エ．ソフトウェアの必要な機能だけを選択して購入できる。

問題２

ASPに関する説明として、適切なものはどれか。

ア．インターネットに接続する通信回線を提供する事業者、またはそのサービス形態

イ．会員になったユーザが閲覧できる、閉じたコミュニティを形成するインターネット上のサービス

ウ．サーバ上のアプリケーションソフトウェアを、インターネット経由でユーザに提供する事業者、または

そのサービス形態

エ．情報システムをハードウェアやソフトウェアといった製品からの視点ではなく、ユーザが利用するサー

ビスという観点から構築していこうとする考え方

問題３

通信事業者の通信設備やサーバの一部を利用者が利用できるサービスはどれか。

ア．アウトソーシング 　　　　 　イ．ソリューションビジネス

ウ．ハウジングサービス　 　　 　　エ．ホスティングサービス

問題４

インターネットを介してコンピュータの資源を提供することで、ユーザが使いたいときに、使いたい資源を簡単に利用できる形態はどれか。

ア．クラウドコンピューティング　 　イ．クラスタリング

ウ．シンクライアントシステム 　　エ．フォールトトレラントシステム

問題５

SOA（Service Oriented Architecture）とは、サービスの組合せでシステムを構築する考え方である。SOAを

採用するメリットとして、適切なものはどれか。

ア．システムの処理スピードが向上する。

イ．システムのセキュリティが強化される。

ウ．シえっとステム利用者への教育が不要となる。

エ．柔軟性のあるシステム開発が可能となる。

問題６

自社で利用する購買システムの導入に当たり、外部サービスであるSaaSを利用した事例はどれか。

ア．サービス事業者から提供される購買業務アプリケーションのうち、自社で利用したい機能だけをインタ

ーネット経由で利用する。

イ．サービス事業者から提供されるサーバ、OS及び汎用データベースの機能を利用して、自社の購買シス

テムを構築し、インターネット経由で利用する。

ウ．サービス事業者から提供されるサーバ上に、自社の購買システムを構築し、インターネット経由で利用

する。

エ．自社の購買システムが稼働する自社のサーバをサービス事業者の施設に設置して、インターネット経由

で理由する。

問題７

BPOに関する説明として、適切なものはどれか。

ア．自社ではサーバを所有せずに、通信事業者などが保有するサーバの処理能力や記憶容量の一部を借りてシステムを運用することである。

イ．自社ではソフトウェアを所有せずに、外部の専門業者が提供するソフトウェアの機能をネットワーク経

由で活用することである。

ウ．自社の管理部門やコールセンタなど特定部門の業務プロセス全般を、業務システムの運用などとともに、

外部の専門業者に委託することである。

エ．自社よりも人件費の安い派遣会社の社員を活用することで、ソフトウェア開発の費用を低減させること

である。

４．３システム戦略（システム企画）

問題１

システム化計画の立案は、ソフトウェアライフサイクルのどのプロセスに含まれるか。

ア．運用　　　　　イ．開発　　　　ウ．企画　　　　エ．要件

問題２

ソフトウェアライフサイクルを、企画プロセス、要件定義プロセス、開発プロセス、運用プロセスに分ける

とき、要求定義プロセスの実施内容として、適切なものはどれか。

ア．業務及びシステムの移行　　　 　イ．システム化計画の立案

ウ．ソフトウェアの詳細設計 　 　　エ．利害関係者のニーズの識別

問題３

システム開発における、委託先の選定に関する手順として、適切なものはどれか。

a．REPの提示　　　 　　　　 b．委託契約の締結

c．委託先の決定　　　　 　　 　 d．提案書の評価

ア．a → c → d → b 　　　　 　イ．a → d → c → b

ウ．c → a → b → d 　 　　 　　 エ．c → b → a → d

問題４

ベンダに対して行う検収に関する説明として、適切なものはどれか。

ア．ベンダから取り寄せた見積書を確認し、それに基づいて注文を行うこと

イ．ベンダからの納品物が要求した仕様書どおりであるかの確認を行うこと

ウ．ベンダに対して、システム提案の検討依頼を行うこと

エ．ベンダに対して、情報収集のため情報提供依頼を行うこと

問題５

X社のシステム部門に所属しているA氏は、自社の会計システムの再定義／プロジェクトの責任者を任され

た。システムの再構築、企画プロセス、要件定義プロセス、開発プロセスの順で進めるとき、企画プロセスにおけるシステム化計画の立案作業でA社実施する作業として、適切なものはどれか。

ア．画面、帳票などのユーザインタフェース要件を確定する。

イ．システムに対する制約条件や業務要件について、関係者の合意を得る。

ウ．提案依頼書を作成し、ベンダ企業に提案書の提出を求める。

エ．品質、コスト、納期の目標値と優先順位を設定する。

問題６

証券業を営むA社は、システムベンダのB社に株式注文システム構築プロジェクトを委託している。当該プ

ロジェクトの運用テストにおいて、A社が定めている“株式注文時の責任者承認における例外ルール”をB社が

把握できていなかったことに起因する不良を発見した。ルールを明らかにするのはどの段階で行うべきであったか。

ア．業務案件の定義　　　　　　　 　イ．システムテスト要件の定義

ウ．システム要件の定義　　 　 　　エ．ソフトウェア要件の定義

問題７

表は、ベンダ４社の提案書を管理面、技術面、価格面のそれぞれについて評価した値である。管理面、技術面、価格面の各値に重み付けをし、その合計が最高点のベンダを調達先に選定するとき、選定されるベンダはどれか。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 評価項目 | 重み | A社 | B社 | C社 | D社 |
| 管理面 | ２ | ２ | ４ | ３ | ３ |
| 技術面 | ３ | ３ | ４ | ２ | ３ |
| 価格面 | ５ | ４ | ２ | ４ | ３ |

ア．A社　　　　　イ．B社　　　　ウ．C社　　　　エ．D社